

目 標

- 非営利セクターにおける人材の高齢化や後継者不足などの状況を踏まえ、人材をどのように確保・育成するのか
- 多様な主体によるネットワークをどのように形成するか

取り組みイメージ

- ①キーワードとして、「**関西発、コレクティブ・インパクトへの挑戦**」を掲げる
基本的視点として、戦略的協働論、社会的協働論の成果をコレクティブ・インパクトによる社会的課題の解決につなげる
- ②「**関西発、コレクティブ・インパクトへの挑戦**」のために、まずメンバー間で協働の意識や各セクターが必要な能力、場の共有から始める
- ③具体的な課題設定というより、複合的な課題・集合体を対象として、大阪・関西流のやり方を見出していければよい
欧米で生まれたこの概念に、関西独自の視点やアイデアを盛り込んでいきたい
- ④メンバーとしては、**有識者**（ソーシャル系・NPO系など）、**非営利法人**（NPOと株式会社の両建てで事業を実施しているような法人など）、**企業**（CSR・CSV関係）、**行政**（社会連携や地域まちづくりなどに取り組む中堅職員など⇒この取組みの目的は、行政の縦割りで埋もれているリソースを見出すもの）などで構成されるイメージ
- ⑤メンバーの協力内容については有識者（戦略的協働論の研究からの協力）、NPO法人代表（現在あるいは将来後継者問題へのアイデア提供）、CSV先進企業（関西発コレクティブ・インパクトに対する企業としての貢献内容の提案）、行政（NPO・企業との協働パートナーとして必要なことの提案）など

今後の進め方

- 年数回程度、同分科会を開催し、具体的なテーマについて検討
- 平成30年度末頃めどに一定の検討結果をとりまとめ、「提言」のようなかたちで公表をめざす

「民都・大阪」フィランソピー会議 人材（資金）分科会

セクター	氏名	所属
リーダー	○佐々木 利廣	京都産業大学経営学部教授
学識経験者	○横山 恵子	関西大学商学部教授
	○後藤 祐一	尾道市立大学経済情報学部准教授
NPO法人	○押栗 泰代	認定NPO法人マイママ・セラピー理事長
	○漆原 由香利	特定非営利活動法人NPOぱれっと理事長
	○堀野 亘求	認定特定非営利活動法人大阪NPOセンター事務局長
企業	○南 貴美子	大阪ガス株式会社地域共創部門近畿圏部 ソーシャルデザイン室
	○山本 高久	大阪商工信用金庫常務理事
	○宮高 豪	セイコー運輸株式会社代表取締役
行政	○満井 祐輝	阪南市役所事業部都市整備課総括主査
	○増田 佑介	藤井寺市役所 市民生活部 協働人權課協働推進
	○小畠 崇史	丹波市まちづくり部市民活動課